

■ 「べにばなネット」って何ですか？

複数の医療機関で、患者さんの同意のもと、ICT(情報通信技術)を活用し、診療情報を共有する村山地域のネットワークのことです。

このネットワークを構築することにより、病院(急性期医療)、かかりつけ医(回復期医療)が一体となって、切れ目のない医療サービスを提供することができます。


なお、将来的には、「かかりつけ医」から「高度医療」まで、「医療」から「介護」までを切れ目なく結びつけ、質の高い医療提供体制を目指すとともに、健康で安心して暮らすことができる社会＝地域包括ケアシステムの実現を目指したネットワークシステムです。



●どんな効果がありますか？

- ① 医療情報ネットワークに参加している医療機関の診療情報を共有できるため、地域で一貫した診療が可能になります。
- ② 重複した検査や薬の処方を防ぐことができ、医療費の負担軽減につながります。

【共有する診療情報】(※)



- 血液検査結果
- お薬の処方
- レントゲン、CT等の画像情報
- 診療録 など

(※) 共有する項目は情報開示病院により異なります。

●個人情報保護対策は？

- ① 情報の暗号化：厚生労働省のガイドラインに基づいた、高度な暗号化処理により、診療情報を保護します。
- ② 端末の特定：診療情報を参照できるのは、事前に審査を受けて認められた人とパソコンに限られます。
- ③ 閲覧の記録：いつ、どこで、だれが、どの情報を見たかを記録で確認します。
- ④ 医療従事者の責務：医療従事者が守秘義務に違反した場合、罰則が科せられます。

●医療情報ネットワークに参加するには？

べにばなネットに参加している医療機関に、「患者同意書」を提出してください。
その際、患者さんはご自身の診療情報を共有する医療機関を指定できます。
また、べにばなネットに参加するために、患者さんが負担する費用はありません。